

情報科学

責任者・コーディネーター	物理学科 佐藤 英一 教授		
担当講座・学科(分野)	物理学科		
担当教員	佐藤 英一 教授、小松 真 講師、寒河江 康朗 助教、小田 泰行 助教		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

近年、グラフィカルユーザーインターフェース（GUI）いわゆるアイコンの発達により、高性能のコンピューターが医療を含むあらゆる分野に急速に取り込まれるようになった。このことから医歯薬分野においても、取り扱う情報の内容に応じた処理方法を学ぶことは必須である。また情報処理に関わるさまざまな原理を理解することも大切である。この情報科学ではコンピューター科学と医歯薬学系における応用を中心に、基礎知識、技術、倫理などについて学習する。

（佐藤・寒河江・小田/7回）

コンピューターの構成装置、ソフトウェアの種類と効果的な使用法、音声や画像のファイル、画像処理などを学習する。

（小松/7回）

統計処理ソフトを使用する際の基本知識、近年の情報関連書籍の読解やモバイル機器使用に必要な基礎知識、ネットワークセキュリティ、クラウド化と SNS に関する基礎知識などを学習する。

・一般目標（GIO）

コンピューターを構成する基本的装置の機能やアナログとデジタルの違いについて理解する。また現代のパソコンで稼動する代表的なソフトウェアの効果的な使用法などを学び、デジタルオーディオビジュアルの原理を理解する。

・到達目標（SBO）

1. デジタル化の原理について説明できる。
2. コンピューターを構成する基本的装置の機能と接続方法を説明できる。
3. ソフトウェア使用上のルールやマナーを守る。
4. 代表的なソフトウェアとそれらの使用法を概説できる。
5. デジタルオーディオと音声ファイルについて説明できる。
6. 静止画像ファイルと画像処理について説明できる。
7. 動画の収録と編集について説明できる。
8. インターネットとイントラネットの仕組みを概説できる。
9. ネットワークセキュリティーについて概説できる。
10. ネットワーク使用上のマナーを守る。

・ 講義日程

(矢) 東 101 1-A 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/22	火	1	物理学科	佐藤 英一 教授	情報のデジタル化
4/28	月	1	物理学科	小田 泰行 助教	コンピューター開発の歴史
5/13	火	1	物理学科	佐藤 英一 教授	WAN, LAN, DNS
5/19	月	1	物理学科	寒河江 康朗 助教	コンピューターを構成する基本装置と働き
5/26	月	1	物理学科	小田 泰行 助教	プログラム開発とプログラミング言語
6/2	月	1	物理学科	寒河江 康朗 助教	ソフトウェアの種類と使用法
6/9	月	1	物理学科	佐藤 英一 教授 寒河江 康朗 助教 小田 泰行 助教	ファイルの種類と拡張子
6/16	月	1	物理学科	小松 真 講師	表計算時に必要な基礎数学と数式の表記法
6/23	月	1	物理学科	小松 真 講師	表計算ソフトで使用する関数と引数
6/30	月	1	物理学科	小松 真 講師	動画像、断層画像、3D 画像そして4D グラフ
7/3	木	1	物理学科	小松 真 講師	医療、情報システム、そして関連アプリケーション
7/7	月	1	物理学科	小松 真 講師	PC・モバイル機器使用時のセキュリティー
7/14	月	1	物理学科	小松 真 講師	Web およびアプリケーション使用時のルール
7/22	火	1	物理学科	小松 真 講師	クラウド・SNS・モバイル機器の使用について

・ 教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	30 時間アカデミック 情報リテラシーOffice2013	杉本くみ子・大澤栄子	実教出版	2013
参	情報科学 第4版	中野 正孝	医学書院	2004

・成績評価方法

- 1.佐藤英一，寒河江康朗，小田泰行：50点満点の試験を行い、出席状況も考慮して採点する。
- 2.小松 真：期末試験（25点）とWeb試験（20点）の合計点数に、出席状況など（計5点）を加味して評価する。
- 3.総合評価：佐藤と小松の採点結果の合計点とする。

・特記事項・その他

- 1.佐藤はパワーポイントを用いて講義し、パワーポイントファイルのハードコピーを配布する。また7回目の講義中に小テストを行う。予習をする必要はないが、要点を講義時間内になるべく覚えるようにして欲しい。
- 2.7回目の小テストの範囲には、寒河江・小田の講義内容も含まれる
- 3.小松はWeb試験にて、表計算などに必要な高校数学の復習を行う。可能ならば、各自で数Ⅲの復習を行っておくことが望ましい。学習方法がわからない場合は、教員や数Ⅲ履修済学生などの助力を得るなどして、なるべく早く問題の解決に取り組むこと。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Dell・Power Edge T105）	1	講義・実習資料作成、他
講義	パソコン（Dell・531S）	1	講義・実習資料作成、他
講義	パソコン（Dell・Vostro 3300）	1	講義・実習資料作成、他
講義	ノートパソコン（東芝・PT35034BSFB）	1	講義・実習資料作成、他